



正社員とアルバイトの収入差

前号でアルバイトの収入試算について掲載しましたが、それなら、わざわざ大変な思いをして就職活動などしなくても、簡単な面接で職に就けるアルバイトの方が効率がいいと思った人もいるかもしれませんね。実際、時給の高いアルバイトで一日8時間以上週5日以上働けば、20代までは正社員より高い給料が得られるケースはあるでしょう。

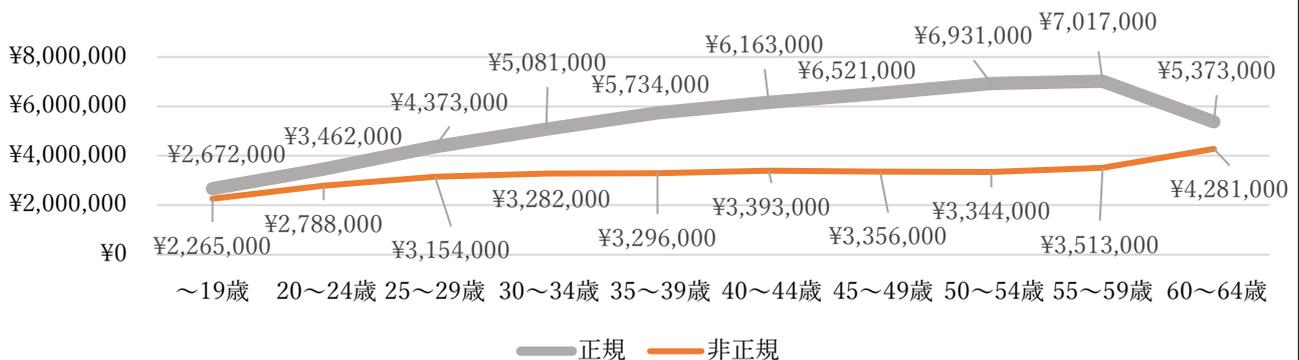
では、なぜ正社員として就職することがいいとされているのでしょうか。それは、正社員として長く働き続ける人との収入差が30代から大きく開くこと、さらに、ここでは詳細は省きますが、けがや病気で働けなくなった時や転職時のスキルアップ支援の保障などに差が出てしまうからです。

つぎに示したのは、厚生労働省が発表したデータをグラフ化したものです。55～59歳では非正規雇用者は同年代の正規雇用者の約半分の収入しか得られていないことが読み取れます。

正社員と非正規（アルバイト）の賃金比較（月収）



正社員と非正規（アルバイト）の賃金比較（年収）



厚生労働省「令和4年賃金構造基本統計調査」より

それなら、若いうちはアルバイトをして後に正社員になればいい、と考えるかもしれませんが、現在の日本で正社員として就職するには、新卒一括採用のタイミングが一番有利で簡単です。「今何ができるか」でなく入社後の伸び代を見越して採用してもらえらるからです。

30代を過ぎてから年齢相応の給与が得られる正社員に中途採用されるには、会社に利益をもたらすことのできる即戦力、現場ですぐに活躍できるだけの高い能力が求められます。

高校卒業後進学するにせよ就職するにせよ、最終学歴での新卒就職のタイミングを念頭に、将来何をどこでどのように生きていくかしっかり考え、複数の作戦を立てておきましょう。